

令和2年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価に関する報告書
(対象年度：平成31・令和元年度)

高萩市教育委員会

目 次

I	はじめに	
1	趣旨	1
2	点検及び評価の対象	1
3	点検及び評価の方法	1
4	外部評価委員	1
II	点検及び評価結果	
1	教育委員会の活動	2
2	教育委員会が管理・執行する事業	4
(1)	学校教育	4
(2)	生涯学習	16
(3)	市民文化	22
(4)	人権	28
III	外部評価委員会委員の意見	30
IV	参考資料	
	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	31

1 はじめに

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成20年4月1日施行）の施行により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用した点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に報告するとともに、公表しなければならないとされました。

このため、高萩市教育委員会では、法律が改正された趣旨に則り、より効果的な教育行政の推進を図るため、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書（平成31・令和元年度実績）」としてまとめ、議会に報告するとともに公表することとします。

2 点検及び評価の対象

本市の市政運営の基本である第5次高萩市総合計画「まちの安全・ひとの安心・しごとの活力 快適生活都市 高萩」及び教育委員会の運営の基本である「高萩の教育」における重点戦略を構成する施策のうち、平成31・令和元年度に教育委員会が実施した主な事務事業を点検及び評価の対象としました。

3 点検及び評価の方法

教育委員会が実施した事務事業を「1 教育委員会の活動」と「2 教育委員会が管理・執行する事業」に大別し、項目ごとに自己点検評価を行いました。

また、点検と評価の客観性を確保するために、事務局内部で実施した点検と評価報告について、教育に関し深い知識を有する者（外部評価委員）の意見を求めました。

4 外部評価委員

（敬称略）

氏 名	所 属
蛭 田 隆 久	元市校長会会長
黒 澤 み の り	市社会教育委員
堀 江 友 次	市体育協会理事長

II 点検及び評価結果

1 教育委員会の活動

(1) 教育委員会の構成

	氏 名	任 期
教 育 長	大 内 富 夫	平成 30 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
教育長職務代理者	関 矢 光 良	平成 29 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
教育委員	鈴 木 幸 男	平成 30 年 10 月 1 日～令和 4 年 9 月 30 日
教育委員	増 子 恵 美	平成 28 年 10 月 1 日～令和 2 年 9 月 30 日
教育委員	佐 川 睦 子	平成 30 年 10 月 1 日～令和 3 年 9 月 30 日

(2) 平成 31・令和元年度教育委員会月別開催状況

教育委員会では、付議された案件についての審議や報告等を行う定例会を毎月 1 回開催する他に、必要に応じて臨時会を開催しました。また、教育委員の意見交換や研修活動等の場として協議会を開催しました。

教育委員会では、20 件の議案と 4 件の報告について審議しました。人事案件や教育委員会規則の制定又は一部改正等について慎重かつ迅速な審議が適正に行われました。これらにおいては、本市の教育行政について様々な視点から建設的に議論されてきました。

教育委員会では、第 5 次高萩市総合計画で示された主要施策である「たくましさを育む「教育・文化」」の実現に向けて、様々な事業の展開に努めてきました。

(単位 回)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
臨時会	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
計	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2

(3) 学校訪問

教育委員会と学校現場が互いに共通認識を持ち、より良い学校教育を推進することを目的として、学校園訪問を実施しています。教職員が実際に指導している様子や子どもたちの様子を把握するとともに、学校及び園での取り組みや課題について意見交換を行っています。

月 日	場 所
5 月 27 日	高萩中学校、秋山中学校、松岡幼稚園
5 月 29 日	松岡中学校、秋山小学校、東小学校、第一幼稚園
6 月 5 日	高萩小学校、松岡小学校、秋山幼稚園、東幼稚園

1月20日	高萩中学校、高萩小学校、第一幼稚園、秋山幼稚園
1月21日	秋山中学校、秋山小学校、松岡小学校、東幼稚園
1月24日	松岡中学校、東小学校、松岡幼稚園

(4) 教育委員研修

国・県・他自治体の取組等に触れる機会を設け、委員としての見識を深めるため、研修に参加してきました。

月 日	場 所	内 容
4月24日	日立市教育会館	県北市教育委員会連絡協議会定期総会 ・ 県北管内の教育行政について ・ 各市教育委員会の現状と課題
5月28日	常陸太田市生涯学習センター	茨城県市町村教育委員会連合会定期総会及び講演会 【講演】 「新しい時代の学校と小中一貫教育」 講師 樋口 直宏
10月30日	ホテルレイクビュー水戸	茨城県市町村教育委員会研修会 【講演】 「素直な心を学ぶ」 講師 池田 繁美

2 教育委員会が管理・執行する事業

(1) 学校教育

少子化に対応し、良質な学校教育を通して、いきいきとした菟っ子を育てます。

事業名	① 教育環境の整備			
施策の内容	<p>○教育施設・設備等の充実が児童生徒の学力向上につながっています。</p> <p>○少子化時代に対応した学校等を適正に配置しています。</p>			
担当課	教育総務課			
実施内容	<p>○教育環境の改善を図るため、高萩小学校自動火災報知設備改修、秋山中学校屋内消火栓ポンプ改修、給食センター重油地下タンク改修、各小中学校、第一・秋山幼稚園の空調設備整備、東小学校・秋山中学校トイレ改修等を行った。</p> <p>○新学習指導要領全面実施に向け、ICT教育環境整備を行った。</p> <p>○公立幼稚園・保育所に通う児童の保護者のニーズ調査の結果、段階的集約を望む意見が多かったことから、市民目線で幼・保の環境整備がより実効的なものとなるように、幼児教育・保育環境整備計画【実施計画】を策定した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○児童生徒数の減少と学校施設の老朽化を鑑み、適正な学校規模とより良い教育環境の提供を引き続き検討する。</p> <p>○国のGIGAスクール構想に基づく小中学生一人一台パソコン等の端末整備に向けたネットワーク環境の拡充等、新たなICT教育環境整備が必要である。</p> <p>○高萩中学校区にある第一・東幼稚園、高萩保育所を一つにする公立認定こども園は、令和4年4月開園に向け、基本設計・実施設計及び建設工事（場所：第一幼稚園敷地）を進めていく。 第一幼稚園は一時的に東小学校内に移し、既存の施設を解体するため、引越しや解体等を計画的に進めていく。松岡・秋山幼稚園については、園児数の減少や耐震化が課題となっているため、あり方など引き続き検討していく。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H28	H29	H30	H31・R元	目標値 (R2)
適正な規模の小学校の割合	60.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	スムーズな学校運営ができる体制
適正な規模の中学校の割合	25.0%	66.6%	66.6%	66.6%	66.6%	

外部評価委員の評価	<p>○教育環境の整備における実施内容並びに課題と今後の取組について、より具体的な記述でわかりやすく、評価についても何をどのように改善するかが具体的である。</p> <p>○新たなICT教育環境整備の充実については、児童生徒の今後の飛躍につながるので、早急に整備していくことが必要だと感じている。予算を伴うものではあるが、今頑張ってもらいたい。</p> <p>○今回のトイレ改修で小中学校すべてが洋式トイレになったことは、計画性を持って実施された事と高く評価したい。</p> <p>○ICT教育環境整備として、一人一台のタブレット整備目標としての意気込みを感じる。今後はオンライン授業を見据え、PC速度の必要性も推測されるため更なる取組みに期待したい。</p> <p>○教育環境の改善を計画的に実践している。引き続き、継続して教育環境の推進をお願いしたい。</p> <p>○一人一台端末及び通信ネットワーク拡充等、教育のICT化に向けた環境整備を早急に推進することをお願いしたい。</p> <p>○第一・東幼稚園、高萩保育所の集約は、保護者のニーズ調査を行い市民目線で取組み、幼児教育・保育環境整備計画を纏めたことは評価できる。松岡・秋山幼稚園についても同様な取組みで検討をお願いしたい。</p>
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業名	② 確かな学力の定着			
施策の内容	○基礎・基本が確実に定着されています。			
担当課	学校教育課			
実施内容	<p>○「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」による読書活動を推進した。</p> <p>中学校では県の目標値を上回る結果となったが、小学校では前年度に比べ読書量が減ってしまった。例年学習のまとめが行われる3学期に読書量が増える傾向にあるが、今年度は3月が長期休業となったため伸びなかった。</p> <p>小学校4～6年：年間50冊以上440人（69.4%） ※平成30年度 595人（94.5%）</p> <p>中学校1～3年：年間30冊以上154人（24.1%） ※平成30年度 87人（13.0%）</p> <p>（県の目標は小学校77%、中学校23%）</p> <p>○家庭学習については、課題の与え方を工夫したり内容を精選したり、家庭学習の手引きを配付したりするなど、各学校において、より実効性のある家庭学習の実現に向けて取り組んだ。</p> <p>○訪問指導を通し、ICTを活用した授業や児童生徒同士の学び合いによる問題解決的な学習を推進させ、主体的・対話的で深い学びを実現するよう指導助言した。その結果、画一的な一斉指導は減ってきている。</p> <p>○学力診断テストでは、学年や教科ごとに結果を分析し、効果的な取り組みを実施した教員の指導例を他校に紹介し、落ち込みの見られた学年や教科について補充学習計画を作成し、実行した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」による読書活動をより一層推進するとともに、成果が上がった中学校での取り組みを参考に図書館臨時職員と連携しながら魅力ある図書室づくりを進め、読書活動を推進する。</p> <p>○授業が主体的・対話的で深い学びとなるよう、訪問指導や研修会を通して指導・改善する。</p> <p>○補充学習計画をもとに各学校の取り組みを振り返り、今年度の指導・助言に生かす。また、研修を通して少人数指導や習熟度別学習の実践事例や成果を紹介することで授業改善を進める。</p> <p>○中学校資格検定補助事業により、学校全体で検定に対する意識を高めるとともに、家庭学習の充実を図る。</p> <p>○採用3年目までの若手教員を対象に、授業力向上を目的とし</p>			

	た研修を計画的に実施することで、若手教員の資質・能力の向上を目指す。
--	------------------------------------

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H28	H29	H30	H31・R元	目標値 (R2)
学力診断テスト市平均点と県平均点との差	-1.37点	-1.5点	-2.3点	-2.3点	-3.4点	+0.5点
家庭学習を1時間以上行っている児童生徒の割合	68.4%	70.0%	67.5%	72.8%	69.3%	80.0%
読書が好きな児童生徒の割合	50.75%	54.1%	53.7%	53.8%	74.5%	65.0%
幼稚園へのALT(外国語指導助手)等派遣回数	3回	3回	14回	10回	10回	6回

外部評価委員の評価	<p>○家庭学習については昨年までとは違い、具体的な手立てが示され基礎基本の定着に着実に取り組んでいる様子がうかがえる。</p> <p>○図書館臨時職員との連携による読書活動の推進により、読書が好きな児童生徒の割合の向上は素晴らしい。今後も継続して欲しい。</p> <p>○「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」の読書量について、学期末の長期休業により小学校は約5%減であるが、中学校は約10%アップしている。年齢の関係も多々あると思うが、長期休業の在り方についての先生方の取り組みが感じられる。</p> <p>○「読書が好きな児童生徒割合」が今年の53.8%から74.5%と約20%アップしている。図書館臨時職員と連携した取り組みの成果だと高く評価したい。今後も継続実施に期待したい。</p> <p>○「みんなにすすめたい一冊の本推進授業」の読書量の成果として、小学校4～6年は3月長期休業のため大幅に減少した。今後は平準化した取り組みが重要である。中学校1～3年は効果的な取り組みで、昨年より上昇している。今後も継続して取り組み、読書量の成果を期待したい。</p> <p>○家庭学習を1時間以上行っている児童生徒の割合は、創意工夫した取り組みで基準値は超えている。今後も目標値80%を目指して実効性のある家庭学習の実現に向けての取り組みをお願いしたい。</p> <p>○訪問指導を通して、情報通信技術（ICT）を活用した授業や児童生徒同士の学び合いによる問題解決的な学習指導を評価する。今後も授業が主体的・対話的で深い学びとなるよう取り組みを継続し成果を期待したい。</p> <p>○学年や教科ごとに学力診断テスト結果を分析し、落ち込みの見られた学年や教科について補充学習計画を作成し実行したことは、効果的な取り組みで評価する。次年度に反映し授業改善が図れることを期待したい。</p> <p>○採用3年までに若手教員の資質・能力向上を目指した研修を計画的にすることは、重要な取り組みと考える。授業力向上を支える基盤づくりに期待したい。</p>
-----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業名	③ 豊かな心の育成			
施策の内容	○豊かな心が育まれ、より良い人間関係を築いています。			
担当課	学校教育課			
実施内容	<p>○生徒指導スローガン「み・そ・あ・じ」を市内全体で取り組むよう指導した。(身だしなみ・掃除・挨拶・時間)</p> <p>○ハイパーQ Uアンケートを実施して学級内の人間関係の把握に努めることで、より良い学級づくりといじめ防止につなげた。また、アンケートの結果をもとに教員向けの研修会を実施し、学級・学年経営に生かせるようにした。</p> <p>小学校のいじめ認知件数は212(241)件、中学校の認知件数は54(57)件で、昨年度とほぼ同じ認知件数であった。主な内容としては悪口やからかい、仲間はずれ、LINEによる悪口、中傷などで、いずれも解消となり、経過観察・指導継続となっている。</p> <p>○市雇用のスクールカウンセラーや心の教室相談員、適応指導教室支援員の他、訪問型家庭教育支援員や県から派遣されるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤー等も活用し、児童生徒の心の居場所づくりに努めた。</p> <p>○道徳の授業の確実な実施を目指し、計画訪問等における道徳の授業参観及び指導助言を通して、読み物資料のあらすじを追う展開からの脱却と「考え・議論する道徳」の実践に努めた。</p> <p>○北茨城特別支援学校のコーディネーターを講師として幼稚園・小中学校の特別支援教育担当者研修会を合同で開催し、特別な支援が必要な幼児児童生徒についての理解を深め、適切な支援や対応ができるよう努めた。</p> <p>○地域のボランティア活動や行事への参加、特別支援学校との交流、高齢者との触れ合いなど、心の触れ合いの場を積極的に設定して思いやりや助け合いの心を育成した。</p> <p>○授業や帰りの会をはじめ、学校生活全般で児童生徒の活動を認めたり称賛したりする場を多く設定することで、自己肯定感の高揚に努めた。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○生徒指導スローガン「み・そ・あ・じ」の取組状況については、清掃時の黙働をはじめ学校ごとに特色を打ち出しながら実践している。引き続き校長会や生徒指導主事研修会で確認するとともに、学校訪問により状況を確認して指導する。</p> <p>○個人向けの分析結果の出るハイパーQ Uアンケートを実施し、児童生徒一人一人にとって居心地のよい学級づくりに一層努める。また、ハイパーQ Uアンケート活用に関する研修会を</p>			

	<p>実施することで分析の精度を高め、一人一人を大切にした学級経営に努める。</p> <p>○児童生徒と教師のふれあいの時間を増やすことで児童生徒理解に努め、信頼関係を構築する。</p> <p>○校内研修支援訪問や要請訪問を活用し、質の高い道徳の授業実践に向けて研修を充実させる。</p> <p>○学級担任の学級経営力の差が大きいため、授業力向上研修などを活用して指導力向上に努める。</p> <p>○関係機関との連携を図りながら、幼稚園介助員や小学校生活指導員兼介助員の研修を充実させ、切れ目のない支援を充実させる。</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H28	H29	H30	H31・R元	目標値 (R2)
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	71.8%	73.2%	72.5%	80.2%	75.4%	79.9%
人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合	74.8%	72.4%	67.6%	74.4%	95.5%	85.4%

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○いじめ問題解決のための取り組みや特別な支援が必要な幼児児童生徒の理解を深めるための教職員への研修が、より具体的に実施され効果が上がっていることが分かる。</p> <p>○課題と今後の取組についても、実施内容に応じた評価が適切になされている。</p> <p>○読み物資料のあらすじを追う展開から「考え・議論する道徳」の実践は、グローバル化する社会に対応できる人間形成に必要と感じられる。今後も継続することを期待する。</p> <p>○実施内容に「自己肯定感の高揚に努めた」とあるが「自分には良いところがあると思う児童生徒」が昨年より約5%も減少し目標値より下回った。実施内容には意気込みと努力が感じられるので、目標値が達成されるような手立てを考えてほしい。</p> <p>○「人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒」は、昨年の74.4%から95.5%と驚異の上昇であり目標値を遥かに上回っている事は素晴らしい。</p> <p>○生徒指導スローガン「み・そ・あ・じ」を市内全体で積極的に展開、取り組んでいる。今後も全校での取り組み状況を水平展開した活動成果を期待したい。</p> <p>○ハイパーQ Uアンケートは、人間関係を把握すると共にいじめ防止に有効な取り組みである。今後も継続してアンケートを行い、児童生徒一人一人を大切にしたい学級づくりに期待したい。</p> <p>○授業力向上研修と指導研修会を計画的に取り組む実践している。今後も継続して指導力の向上の取り組みに期待したい。</p> <p>○人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合が95.5%と素晴らしい。豊かな心の育成指導の評価と考える。継続しての指導をお願いしたい。</p>
------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業名	④ 健やかな体力の向上			
施策の内容	<p>○健やかな体を持ち、理想や自己の目標に向かって努力する強い意志を持っています。</p> <p>○安全でおいしい給食が提供されています。</p>			
担当課	教育総務課・学校教育課			
実施内容	<p>○小中学校では、体カテストの結果を分析し、落ち込みの見られる項目を授業冒頭のサーキットトレーニングに組み込んだり、部活動で強化したりするなどの手立てを講じた。幼稚園では、小中学校で課題の見られる投力や瞬発力を向上させる遊びを意図的・計画的に取り入れた。</p> <p>○各中学校では、運動部活動の充実が図られ、生徒の自主性・主体性を高める運営に努めた。</p> <p>○「高萩市運動部活動の運営方針」及び各学校の運営方針に則った部活動運営を基本とし、適正な時間管理の下、合理的でかつ効率的・効果的な部活動運営に努めた。また、部活動指導員を配置し、専門的な指導を行うとともに、教員の負担軽減を図った。</p> <p>○栄養教諭により、児童生徒の発達段階に応じて朝食摂取の大切さや心身の成長に必要な栄養などの食育に関する専門的な授業を行った。また、給食試食会や学校だよりなどを通して保護者にも食事の大切さを伝えた。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○児童生徒の体力向上については、課題の見られる運動能力の向上に努める。また、民間スポーツクラブとの連携による水泳学習、体育的行事、部活動、スポーツチャレンジ等を通して運動への興味関心を高める。</p> <p>○部活動指導員が配置されていない学校への配置を推進するとともに、指導員の効果的な活用や望ましい部活動指導の在り方等について、教員及び指導員対象の研修を実施する。</p> <p>○今年度の学校給食残食率は低かったが、引き続き栄養教諭を活用した「食育」を継続し、保護者にも積極的に情報を発信していくことで残食を減らすよう努める。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H28	H29	H30	H31・R元	目標値 (R2)
児童生徒体カテスト (A、B評価の割合)	63.7%	64.6%	66.6%	66.6%	66.4%	65.0%
学校給食の残食率	21.0%	19.8%	19.5%	19.7%	16.4%	19.0%

外部評価委員の評価	<p>○前年度の反省を基に、部活動指導員の配置等を実施し、効果的な部活動運営に努めてきたことが理解できた。</p> <p>○栄養教諭による「食育」の授業が、残食率の改善につながっていることが読み取れた。</p> <p>○体カテストA B評価割合が昨年より若干減少したが、体カテストの結果を分析した取り組みの努力がみえる。目標値を1.4%も超えている事は素晴らしい。</p> <p>○部活動指導員の配置による専門的指導は1学校からの要望で2名である。今後は、全学校で専門指導が受けられるように期待したい。</p> <p>○体カテストでA B評価の割合が目標値を継続して超えている。体カテストの結果を分析し、落ち込みの見られる項目を工夫した取り組みの成果と考える。今後も工夫した取り組みで体力向上を期待したい。</p> <p>○「高萩市運動部活動の運営方針」について、教員及び指導員を対象に研修を行い、生徒へ豊かなスポーツライフ育成を期待したい。</p> <p>○栄養教諭を活用して、児童生徒への食に関する指導のみならず、家庭へ情報発信して学校給食残食率軽減に努力している。継続して食育に取り組み残食率軽減を期待したい。</p>
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業名	⑤ 開かれた学校運営			
施策の内容	○地域の子どもたちの成長・発達を保育所、幼稚園、小学校、中学校と家庭、地域がお互いに連携して取り組んでいます。			
担当課	学校教育課			
実施内容	<p>○校種間連携事業「ユニット4」(10年以上続けている事業)により小学校区ごとにユニット事業を推進し、保幼小中が連携した学校行事や授業の交流を行った。</p> <p>○はぎッズサポーターの活用を通し、地域とともにある学校づくりを進めた。子どもたちは多様なサポートにより学習を充実させることができた。これまで小学校での活動が中心であったが、中学校での活動も増えてきた。</p> <p>○令和2年度のコミュニティ・スクール全校導入に向けて生徒指導夏季研修会において、教職員への研修を行ったり各小中学校で秋山コミュニティ・スクールの実践に関する事例を紹介したり、新聞折り込みチラシを作成し各家庭に配付したりして、教職員や保護者・地域への啓発に努めた。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○コミュニティ・スクールの全校導入に向け、校種間連携事業を「ユニット3」に変更し、ねらいを明確にした交流ができるようにする。</p> <p>○各学校に地域連携コーディネーターを配置し、研修を充実させることで学校・家庭・地域社会が相互に連携・協力した教育を推進する。</p> <p>○地域連携コーディネーターを中心に、はぎッズサポーター等の地域人材の活用を充実させ、本物を見せる授業、地域と協働して子どもたちを育てる学校づくりを推進する。</p> <p>○コミュニティ・スクール全校導入に合わせ、教職員や地域・家庭に積極的に情報発信を行い、事業の活性化を図る。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H28	H29	H30	H31・R元	目標値 (R2)
学校・家庭・地域が連携して教育がなされていると思う市民割合	29.4%	-%	-%	-%	-%	46.3%
豊かな心を育み、萩っ子が生き生きと育つ学校教育が推進できていないと思う市民の割合	13.0%	-%	-%	-%	-%	7.7%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○令和2年度コミュニティ・スクール全校導入に向けた取り組みが実践されていることは、とても素晴らしい。</p> <p>○高萩市独自の取り組みの啓発活動を充実して欲しい。</p> <p>○校種間連携授業「ユニット4」から「ユニット3」への縮小で、小学校区ごとに学校行事や授業の交流は先生方の意気込みを感じ取れる。今後も保幼小中の連携事業に期待したい。</p> <p>○はぎッズサポーターを活用した活動は、地域とともにある学校づくりの有効なツールで取り組み、成果を評価する。また、中学校での活動が増え、地域と協働して子どもたちを育てる学校づくりの活性化が期待できる。</p> <p>○全校導入に向けたコミュニティ・スクールの活動状況等の情報発信は、活動内容の周知と理解を深め有効である。今後も活動状況の情報発信を図り、活動の活性化を期待したい。</p>
------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 生涯学習

自分に合った手段や手法で学び、それを活かして生活し、充実感を得られるよう生涯学習を推進します。

事業名	① 生涯学習機会の充実			
施策の内容	○国際化や情報化社会など直面している課題への取組や一人ひとりの状況に応じたきめ細かな学習機会が提供され、人と人との連携や世代間交流が拡大しています。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○生涯学習情報誌「学びいきいき高萩 2019」を作成（550部）し、関係機関へ配付した。</p> <p>○地域の人材であるはぎっズサポーターの活用により、地域社会と学校との連携を図った。（延べ743人活動）</p> <p>○市民団体等との連携により「いきいき萩っ子育成事業」を実施し、子どもから高齢者まで交流できる機会を設けた。（「カレンダーを作ろう」「自分だけの凧を作ろう」）</p> <p>○子ども向けの講座や短期講座など、市民のニーズに合った講座を新たに開設した。</p> <p>○青少年相談員協議会や子ども会育成連合会と連携し、体験活動を実施した。（「サマージャンボリー」「少年探検講座」「萩っ子歴史探検隊」）</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○複数あるボランティア組織の整理と効果的な活用を図る。</p> <p>○協働のまちづくりに向けた人材の把握に努める。</p> <p>○学校教育支援体制の整備を図る。</p> <p>○市民ニーズの把握及び事業化（講座開設等）に取り組む。</p>			

主要事業指標 （総合計画の成果指標）	基準値 （H26）	H28	H29	H30	H31・R元	目標値 （R2）
生涯学習機会が充足していると思う市民割合	16.1%	-%	-%	-%	-%	25.0%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

外部評価 委員の評価	<p>○前年度までの「実施内容」「課題と今後の取組」とほぼ同じ記述で評価として考えたとき変化がないように思えるが、具体的な手立てやどんな取り組みかを明示することにより、活動が見え、多くの実践で効果が上がっていることをアピールできるのではないかと考える。</p> <p>○はぎッズサポーター登録は各学校で10名～40名であるが、活動延べ人数は約743人であることから、学校と地域の密着した取り組みが伺える。今後の継続を期待するとともに高く評価したい。</p> <p>○はぎッズサポーターを活用した活動(前年度より270人増加し743人)は、活発な状況で評価できる。引き続き、学校と地域の人々が相互理解と信頼関係を深め、連携強化した取り組みに期待したい。</p> <p>○複数あるボランティア組織の整理・融合は、効果的な活用を図ることで活性化を期待したい。</p> <p>○自然・文化体験活動(小学4～6年生)は、友達と一緒にいろいろなことを学び成長する有効な活動である。今後も充実した取り組みをお願いしたい。</p>
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業名	② 生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興			
施策の内容	○創意工夫を活かした特色ある講座やスポーツ、レクリエーションなど様々な事業が展開され、子どもから高齢者まで多くの市民が年齢や体力に応じ気軽にスポーツに親しんでいます。			
担当課	スポーツ振興課			
実施内容	<p>○市内小中学校の体育館や校庭等の体育施設を学校教育に支障のない範囲内で市民へ開放を行った。学校体育館の開放については、空きがなく、利用団体間で調整を行い利用できた。</p> <p>○市長杯争奪軟式野球大会、たかはぎ駅伝競走大会等を実施し、多くの市民が参加した。歩く会は、台風の影響により中止となった。</p> <p>○国民体育大会本県開催に向け地元から優れた人材を発掘するため、小中学生を対象としたウエイトリフティング教室を実施していたものを、国体終了後も継続して実施した。年々ウエイトリフティング教室の参加者が増加し、インターハイや中学生の全国大会に出場している。</p> <p>○いきいき茨城ゆめ国体高萩市実行委員会を開催し、軟式野球競技とウエイトリフティング競技の準備体制を整えるとともに、競技団体との綿密な協力体制を構築して競技運営、おもてなし、学校応援等を実施し、国体のスムーズな運営を行った。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○ホームページやSNS等を活用し、各種団体と連携を図り、スポーツ活動の人口増に努める。</p> <p>○公道で実施している体力づくり市民歩く会及びたかはぎ駅伝競走大会については、参加者の安全確保に努める。</p> <p>○ウエイトリフティング競技力の向上を図るとともに、競技の紹介・普及等に積極的に取り組んでスポーツ交流事業の増加と地域のスポーツ環境の向上を目指す。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H28	H29	H30	H31・R元	目標値 (R2)
各種スポーツイベント等への参加者数	3,454人	－人	－人	－人	－人	3,500人
週1回以上スポーツを行っている市民割合	26.3%	－%	－%	－%	－%	30.0%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

外部評価 委員の評価	<p>○国体関係の各種運営については、今回書かれてある実施内容の他にも多くの手立てをとっていたことがうかがえる。また、市民からの評価も「よくできた」との声が多かった。</p> <p>○国民体育大会に向けて小中学生対象のウエイトリフティング教室実施を国体終了後も継続し、教室参加者の増加とともにインターハイや中学生の全国大会への出場までの成果は素晴らしく、高く評価したい。</p> <p>○グラウンドや体育館等開放は、多くの団体が調整を行い利用している。今後もスポーツ活動への参加を促進し、体づくり・健康増進のため、多くの団体が利用できるよう開放をお願いしたい。</p> <p>○第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」高萩市開催の軟式野球とウエイトリフティングの競技準備・運営と市民一丸でおもてなしの心で成功裏に開催できた取り組みを評価する。大会を通して高萩市の魅力を全国に発信することができたと考える。</p> <p>○国体終了後もウエイトリフティング教室を継続して開催している。参加者が増加し、インターハイや中学生の全国大会に出場して活躍している。今後もウエイトリフティング競技力の向上とともに競技の紹介と普及に期待したい。</p>
---------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業名	③ 社会教育施設の整備と活用			
施策の内容	<p>○市民のニーズに合った適正配置が進み、管理体制が整い市民に愛される施設として有効活用されています。</p> <p>○広い市域に分散している社会教育施設の老朽化に伴い、統廃合や整備、適正な規模の確保並びに配置に努め、有効活用されています。</p>			
担当課	生涯学習課・スポーツ振興課			
実施内容	<p>○体育施設の整備として、グラウンド等の修繕及び各施設の老朽化による照明器具の不具合、エアコン故障等の修繕を実施した。</p> <p>○国体の会場となる市民球場のネット補修工事や芝生肥料散布・除草作業等を実施した。</p> <p>○文化会館においては、音響設備、空調設備、照明設備の改修工事を実施した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	○全施設において、老朽化が進んでおり、計画的な改修及び修繕が必要である。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H28	H29	H30	H31・R元	目標値 (R2)
社会教育施設の平均稼働率	87.0%	86.5%	86.2%	82.0%	81.8%	90.0%

<p>外部評価 委員の評価</p>	<p>○各施設の老朽化が目立つが計画的な改修に取り組まれることを期待している。</p> <p>○社会教育施設の平均稼働率が年々減少し、平成26年の基準値より5.2%、目標値に至っては8.2%下回っている。施策の内容として、「社会教育施設の老朽化に伴い、統廃合や整備等に努め有効活用されている」とある。確かに、90.0%の目標値は高いが、施策に対してのさらなる努力の必要性を感じる。</p> <p>○スポーツ各施設の老朽化対策について、計画的に改修・修繕を実施している。今後も安全安心な管理運営をお願いしたい。</p> <p>○高萩市民体育館は、建築約45年と老朽化し、計画的に改修・修繕を行い維持管理している。今後、中長期的な視点をもって十分な検証と改修・建替え等の検討が必要と考える。</p>
-----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 市民文化

多様な文化に触れ、心豊かに暮らせるよう、伝統文化・芸術文化・国際交流などの市民活動を推進します。

事業名	① 芸術文化の振興			
施策の内容	○市民や文化協会等の自主的な芸術文化活動への支援が充実していることから、市民のニーズの変化に合った魅力あるイベントが開催され、質の高い芸術・文化に触れる機会が充足しています。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	○文化祭や子ども文化教室一日体験講座等を実施し、文化に親しむ機会を提供した。			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	○文化団体構成員の高齢化による文化協会脱会がみられるため、若年層の取り込みが必要。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H28	H29	H30	H31・R元	目標値 (R2)
文化祭等事業への参加者数	6,238人	－人	－人	－人	－人	6,650人
芸術・文化活動の機会の充足度	59.5%	－%	－%	－%	－%	65.0%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

<p>外部評価 委員の評価</p>	<p>○文化団体構成員との具体的な話し合いの内容を「課題と今後の取組」の中に記述していけば、より具体的に全体の様子が分かり、評価にも生かせると感じた。</p> <p>○前年度の課題と今後の取組みとして「文化団体構成員の高齢化による文化協会脱退がみられるため、若年層の取り込みが必要」と記載されているが、令和元年度の実施内容にそれらの課題が反映されていないと思われるので手立てを考えてほしい。</p> <p>○文化祭や子ども文化教室1日体験講座等、市民の芸術文化活動の支援を引き続きお願いしたい。</p> <p>○少子高齢化が進む中、次代の芸術文化の担い手の育成は大きな課題である。文化団体の支援・育成を行うなど、芸術文化活動の振興を図る総合的機能の構築を期待したい。</p>
-----------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業名	② 文化財の保護・活用			
施策の内容	○郷土の貴重な文化財を保存・伝承するとともに展示や広く周知することにより、市民の文化財に対する関心が高まり、親しむ機会も増えています。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○市内文化財の保護・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穂積家住宅の利活用として、古民家レストラン、つるし雛飾り展示を実施した。 <p>穂積家住宅の年間来場者数 12,103人 (うち、レストラン期間入場者 7,684人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/20～9/1・9/21～12/1：古民家レストラン 高萩茶寮 ・2/18～2/29：つるし雛飾り展示 <p>・令和元年7月に東京で開催された「国際地図学会議」参加者を対象とした高萩市来訪ツアーを開催し、国内外の地図の研究者に長久保赤水の業績を紹介するとともに、本市の文化財等の魅力を発信した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○穂積家住宅の茅葺屋根葺き替えの必要性について検討する(前回葺き替え後17年経過 H22年度一部補修)。</p> <p>○穂積家住宅衣裳蔵外部漆喰修繕の必要性について検討する。</p> <p>○長久保赤水資料群が国の重要文化財に指定されることから、さらなる顕彰と資料の活用について検討する。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H28	H29	H30	H31・R元	目標値 (R2)
市内の文化財に親しんでいる市民の割合	62.3%	—%	—%	—%	—%	65.0%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

外部評価 委員の評価	<p>○より多くの市民に、市内文化財の理解を深めるため、市内の地図上に文化財等を明示し配るといふ広報活動に継続して取り組むことが大切であると感じている。</p> <p>○江戸時代中期の地理学者である長久保赤水氏の資料693点が国の重要文化財に指定されたことは、団体との連携事業の成果だと思われる。今後も、団体と協力体制を取り、さらなる情報発信に期待したい。</p> <p>○穂積家住宅の茅葺屋根葺き替え、衣裳蔵外部漆喰修繕について良く検討いただき保護をお願いしたい。また、長久保赤水資料群を含めての観光PRで来場者の増加を期待したい。</p> <p>○昨年開催された「国際地図学会議」長久保赤水の業績紹介と高萩市の文化財等の魅力発信は有効な取り組みと評価する。長久保赤水資料群が国の重要文化財に指定されたことから、長久保赤水の偉業を広く国民のみなさんに知っていただく周知活動を期待したい。</p>
---------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業名	③ 市民による国際交流推進			
施策の内容	○市内外の外国人や外国文化と交流を行う人が増加しています。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	○高萩市国際交流協会事業 ・国際交流の集い 都内大学留学生 20 人のホームステイを実施 ・文化交流会 世界のグルメ講座 参加者 13 人 メキシコ系アメリカ人のマリッサさんを講師に迎え、メキシコの家料理を作った。 高萩まつりに市内在住外国人 9 人が参加し、おみこしを担ぐ体験をした。 ・海外派遣事業 中学生 10 人をイギリスへ派遣予定であったが、新型コロナウイルス感染症の発生により中止した。 高萩高等学校海外研修プログラム共催 6 人を台湾へ派遣			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	○国際交流の集い事業の見直しを行う（ホストファミリー確保が困難）。 ○海外派遣事業の見直しを行う。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H28	H29	H30	H31・R 元	目標値 (R2)
過去 2 年以内に市内外の外国人や外国文化と交流している又は交流したことがある市民割合	10.0%	-	-	-	-	10.0%

※第 5 次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

外部評価委員の評価	<p>○今回の実施内容と課題や今後の取り組みについては、前回より工夫していることが読み取れるので、今後も継続して欲しい。</p> <p>○グローバル化する昨今、異文化交流は重要になってくると思われるので、市内在住の外国人グルメ講座開催は高く評価したい。</p> <p>○海外派遣事業は、新型コロナウイルス感染症の環境で実施が困難な状況にある。今後の取り組みを見直し推進をお願いしたい。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の中での国際交流事業は難しいことから、市内在住の外国人等との交流事業を検討し、市民の国際化意識を高めることに期待したい。</p>
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(4) 人権

市民一人ひとりの人権が尊重されるまちを構築します。

事業名	① 学校における人権教育の推進			
施策の内容	○学校教育や生涯学習などの場において人権教育が実施され、差別や偏見がなく、人権の尊重についての理解が深化しています。			
担当課	学校教育課			
実施内容	<p>○各学校において人権教育推進全体計画を作成し、人権尊重の視点に立った学校づくりを行った。</p> <p>○人間関係のトラブルに関する生活指導や生徒指導の場面で、相手の立場や気持ちを考えさせる指導を行っている。また、学期に1回以上の生活アンケートの実施により、いじめやトラブルの早期発見に努めた。</p> <p>○人権教育市町村教育委員会訪問を実施し、各学校の取り組みを紹介しあい、効果的な活動や教員研修についての理解を深めた。また、県の人権教育室からの講話を聴き、人権課題についての意識を高めるとともに、人権が尊重される学校づくりについて再確認した。</p> <p>○秋山中学校において、「茨城県スクールロイヤー派遣事業」を活用し、弁護士を招いていじめ行為の法律上の扱いについて講義を聴いたり、人権を守ることの重要性について話し合ったりと、教職員向けの研修を実施した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○悪口やかからかいなど、いじめに当たる行為はなくなっていない。引き続き、教育活動全体を通して人権意識を高めるとともに、道徳の授業において人権尊重の意識を高め、様々な体験活動を通して実践力を高める指導を充実させる。</p> <p>○17項目の人権課題に対して、知識として学ぶだけでなく、日常生活において態度や行動に表れるような人権感覚の涵養に努める。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H28	H29	H30	H31・R元	目標値 (R2)
学校教育や生涯学習などの場において人権教育が実施され、差別や偏見がなく、人権の尊重についての理解が深化している。	76.8%	83.9%	78.8%	88.0%	—%	87.5%

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○前年の反省をもとに、教員の人権意識の向上を図るための研修会を実施し、教職員の人権意識高揚を図ったことは素晴らしい取り組みだと感じた。今後も継続して欲しい。</p> <p>○「悪口やかからかいなど、いじめに当たる行為はなくなっていない」と昨年同様に今後の課題と取り組みが記載されているが、課題解消のために先生方の取り組みや意気込みが実施内容を介して読み取れた。今後も課題解消に向けて取り組んでほしい。</p> <p>○各学校において人権教育推進全体計画を作成し、人権に関わる概念や人権教育が目指すものについて明確にし、教職員一体となって取り組んでいることを評価する。今後も人権が尊重される学校づくりの取り組み・推進をお願いしたい。</p> <p>○継続して学期に1回以上の生活アンケートを実施し、教職員が情報を共有していじめやトラブルの早期発見に取り組んでいることを評価する。継続して「いじめ」を許さない人権感覚を身に付ける指導をお願いしたい。</p> <p>○人権課題について、各学校の取り組みの共有化や教員研修と人権講演等、教職員の人権意識向上に取り組んでいることを評価する。今後も積極的に人権課題に取り組むことを期待したい。</p>
------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

Ⅲ 外部評価委員会委員の意見

- 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書」のまとめ毎年大変ご苦勞様です。年々、担当者が具体的な取り組みとそのことに関する課題と今後改善のためにどのようにしていくかという関連を図った記述に心がけてくれているのを感じて嬉しく思っている。
- 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書」のまとめ大変ご苦勞様でした。ひとつの事業内容に対し今後の課題と取り組みがありますが、次年度の事業内容にその課題が反映されず再び同様の課題を記載された事業がありました。今後は、前年度の課題解消を念頭におき実施するように期待します。全体としては事業の取り組みを高く評価し、高萩市の発展・向上に期待します。
- 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書」の取り組み姿勢は、各担当課を中心に計画を立て確実に推進・実践していることを評価する。さらなる向上に期待したい。
- 新型コロナウイルス感染症を踏まえた今後の教育は、遠隔・オンライン教育を含めICTを活用した効果的な指導が課題となる。新しい教育様式に対応する環境改善の取り組みを期待したい。
- G I G A スクール構想の加速によるICT環境の早期整備と教師が遠隔・オンライン教育を含めICTを活用した効果的な指導ができるよう計画・推進をお願いしたい。

IV 参考資料

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。